


カラービデオカメラ

取扱説明書

J

(日本語は日本国内製品の説明です。)

お買い上げいただきありがとうございます。

 **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の
取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのう
え、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管して
ください。

EVI-D30

EVI-D31 (ヨーロッパモデル)

⚠️ 警告 安全のために

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
- 定期的に点検する
- 故障したら使わない
- 万一、異常が起きたら

変な音やにおい、煙が出た場合は

- ① 電源を切る
- ② ACパワーアダプターをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店に修理を依頼する

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠️ 危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠️ 警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠️ 注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災 感電

行為を禁止する記号



禁止 分解禁止

行為を指示する記号



強制

⚠️ 警告 下記の注意を守らないと、火災・感電により死亡や大けがの原因となります。



火災 感電

内部に水や異物をいれない

水や異物を入れると火災の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店にご相談ください。



禁止

ACパワーアダプターの上に布などをかぶせない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない、火気に近づけない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。特に雨の日の窓際や屋外、風呂場のようなところへは置かないようにしてください。



禁止

直射日光に当たる場所、熱器具の近くには置かない

変形したり、故障したりするだけでなく、レンズの特性により火災の原因となります。特に窓際に置くときなどご注意ください。

設置は確実に行う

壁面や天井などへの設置は、本体と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめください。十分な強度がないと、落下して大けがの原因となります。また、1年に1度は、取付がゆるんでいないことを点検してください。



強制

本機(EVI-D30)は国内専用です

必ず家庭用電源と付属のACパワーアダプターをご使用ください。車の中のDC電源や海外などで、異なる電源電圧で使用すると火災・感電の原因になります。



注意



感電

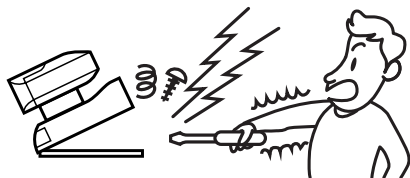
下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店にご依頼ください。



分解禁止



ぬれた手でACパワーアダプターにさわらない

感電の原因となることがあります。



接触禁止

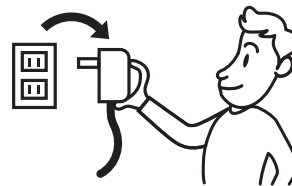


お手入れの際、ACパワーアダプターを抜く

ACパワーアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因になることがあります。



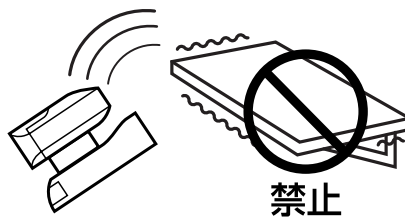
プラグをコンセントから抜く



長時間使わないときは、ACパワーアダプターを抜く

安定した場所に置く

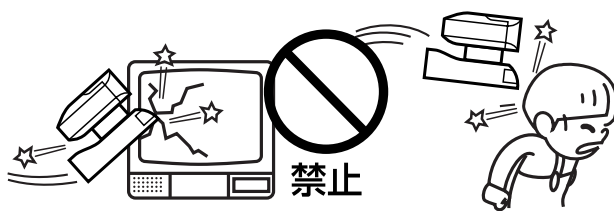
ぐらついた台の上や傾いたところ、激しい振動のあるところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。万一、落としたり破損した場合は、お買い上げ店にご相談ください。



禁止

本機の移動について

本機を動かす場合、人や物を傷つけないようにご注意ください。



禁止

J

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

危険

- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解・加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 充電式ボタン型電池は、火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。

警告

- 充電式ボタン型電池は幼児の手の届かないところに置く。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

注意

- \oplus と \ominus の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

主な特長

- 38万画素(有効画素数)CCDの採用で、高解像度の撮影が可能です。
- 高速パン・チルト機能に加えて、AT(自動追尾)機能、MD(動体検出)機能の搭載により、多目的に使えます。
- VISCAにより、パソコンからのコントロールが可能です。
- カメラの向きや状態を6種類まで記憶できます。
- 多機能リモコンを付属しています。

目次

準備

接続する	6
お手持ちのパーソナルコンピュータ やAV機器にS映像入力端子があるとき きは	7
電源を入れる	8
時計を合わせる	8

基本操作

パン・チルトする	10
カメラを調節する	11
カメラの状態を記憶させる	12

応用操作

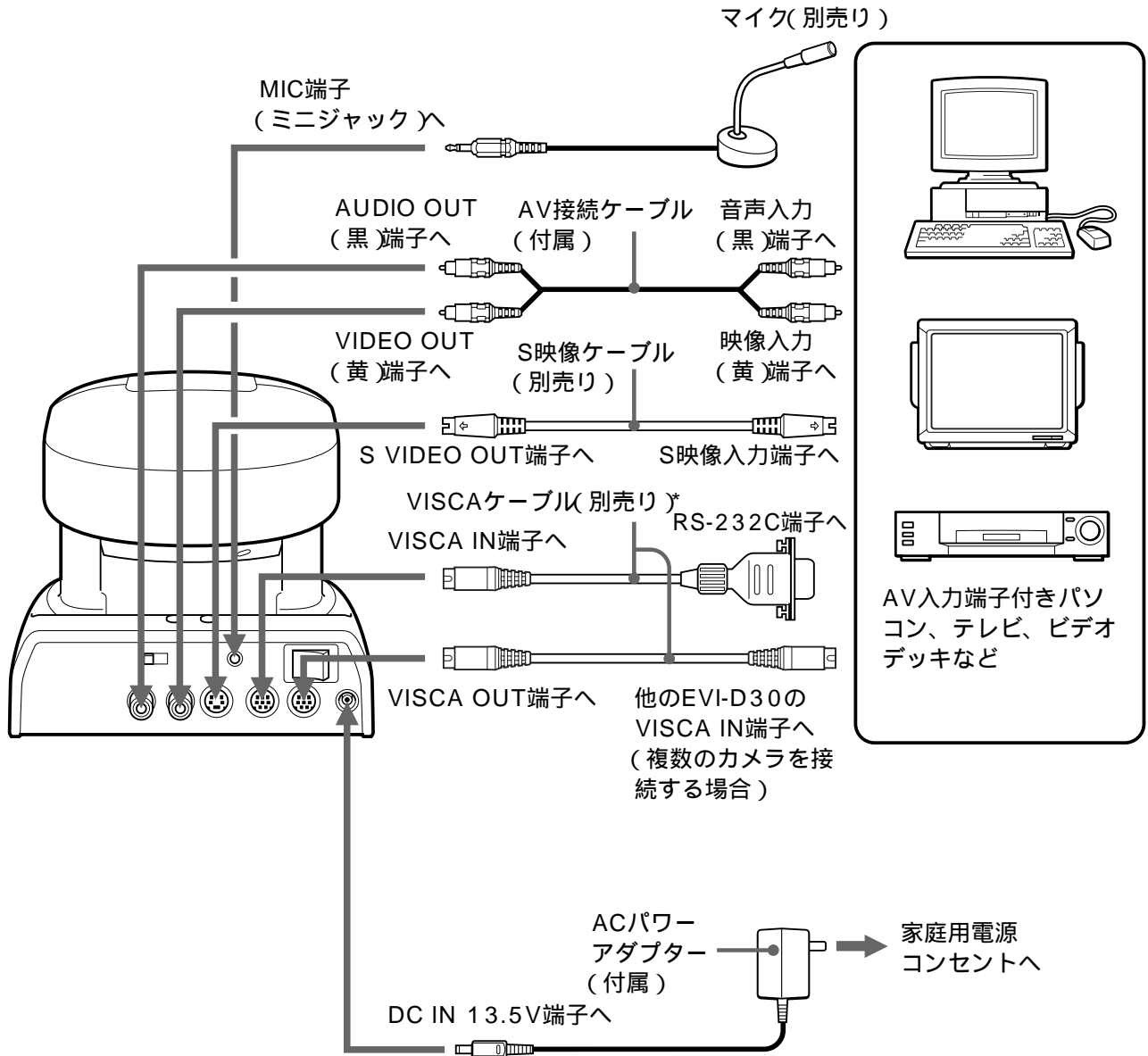
自動追尾する	14
より細かい設定をするには	16
被写体を認識できない/見失うときは	17
画面の変化を検出する	18
より細かい設定をするには	20

その他

各部の名称	22
使用上のご注意	25
お手入れについて	26
故障かな?と思ったら	26
アフターサービスについて	27
主な仕様	27

接続する

電源をつなぎ、AV入力端子付きのパーソナルコンピュータやAV機器などへ接続します。機器によっては、変換ケーブルなどが必要となります。接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。



* VISCAケーブルを接続すると、付属のリモコンのかわりにパソコンでも操作できます。

お手持ちのパーソナルコンピュータやAV機器にS映像入力端子があるときは

別売りのS映像ケーブルを使って本機のS VIDEO OUT端子と接続することもできます。

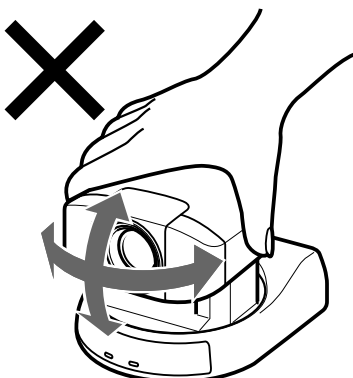
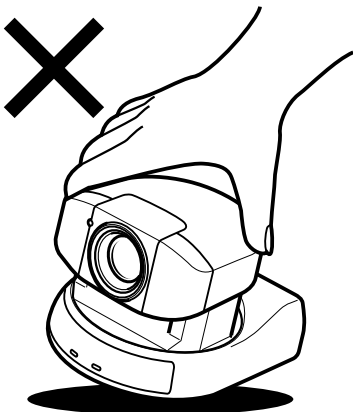
ご注意

- 映像入力端子またはS映像入力端子が付いていないパーソナルコンピュータには接続できません。ビデオキャプチャーボードやサウンドボード、ソフトウェアを別途にご用意いただかないと使用できない機種もありますのでご注意ください。くわしくは、お手持ちのコンピュータのメーカや販売店へおたずねください。
- この製品には、付属のACパワーアダプター(極性統一形プラグ・EIAJ規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

極性統一形プラグ

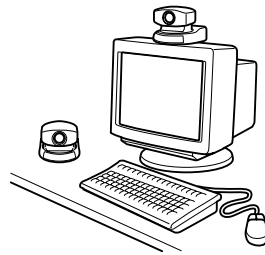


- 持ち運ぶときは、カメラヘッド部を持たないでください。
- カメラヘッド部をパン方向、チルト方向に手で回さないでください。故障の原因となります。

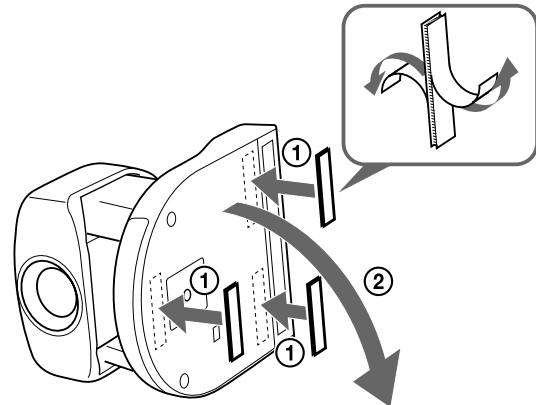


設置する

本体は平らなところに置きます。

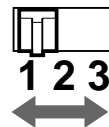


固定するときは、付属のマジックテープを使います。



複数のカメラをリモコンで操作するときは本体裏面のCAMERA NO.スイッチを、カメラごとに違う番号を振り分けて設定します。(11ページ参照)

CAMERA NO.



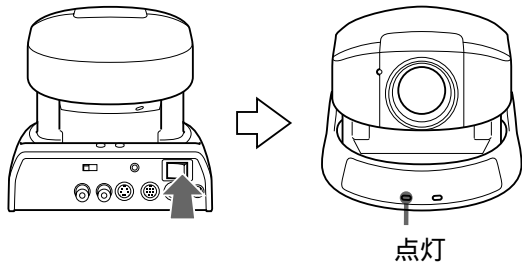
電源を入れる

- 1 本体裏面のPOWERスイッチをONにする。

POWERランプが点灯します。

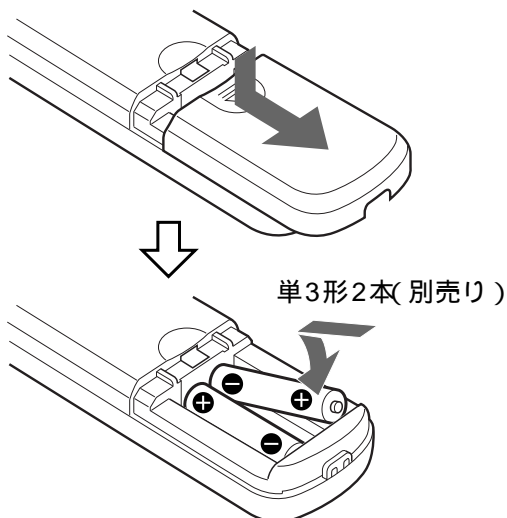
本体のPOWERスイッチがONのとき、リモコンのPOWERボタンでもカメラの電源の入/切ができます。

電源を入れるとカメラは自動的に、いったん向かって右下を向いてから正面を向き、カメラの位置を初期状態にします。(パン・チルトリセット動作)



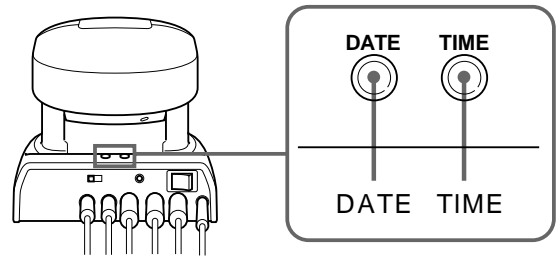
- 2 その他の周辺機器の電源を入れる。

リモコンの電池を入れる

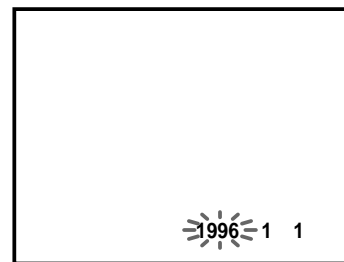


時計を合わせる

本体のボタンで操作します。



- 1 DATEボタンとTIMEボタンを同時に約2秒間押し続け、「月、日」が表示され、続いて「年」が点滅を始めたら手を離す。



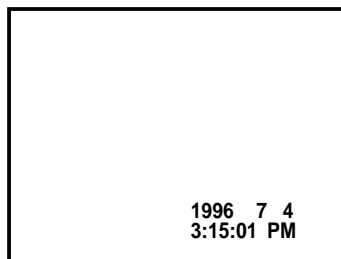
- 2 DATEボタンを繰り返し押し続けて、「年」の数字を選ぶ。

- 3 TIMEボタンを押して「年」の数字を決定する。



4 手順2、3と同じ操作で「月」、「日」、「時」、「分」を順に合わせる。

「分」合わせのとき、TIMEボタンを押した時点で時計が動き始めます。



時計を表示するには

時刻と年月日を各々別々に表示できます。

時刻を表示するには、TIMEボタンを押します。

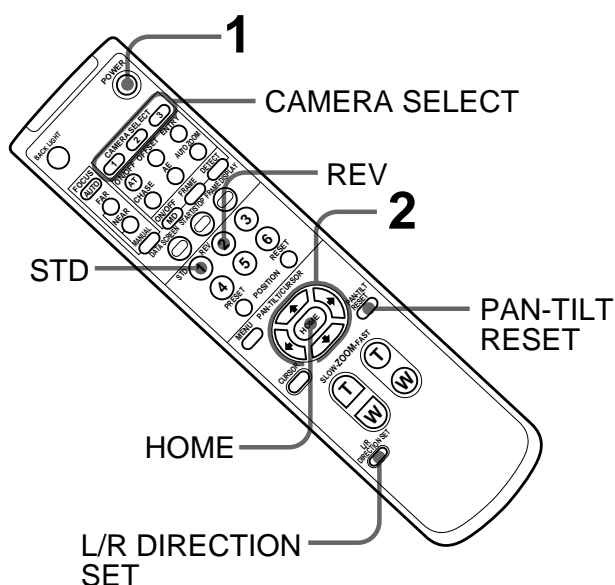
年月日を表示するには、DATEボタンを押します。

時計表示を消すには、それぞれのボタンをもう一度押します。

ご注意

本体のPOWERスイッチをOFFにすると、時計は初期状態に戻ります。電源を切っても時計を保持させたい場合は、カメラヘッド部裏面のBACKUPスイッチをONにします。(「バックアップについて」(25ページ)参照)

パン・チルトする



1 POWERボタンを押す。

電源が入って、カメラは自動的にパン・チルトリセット動作をします。

2 矢印ボタンを押してパン・チルトする。

画面を見ながら、見たい方向の矢印ボタンを押します。

細かく動かすには、短く押します。

大きく動かすには、長く押し続けます。

斜めに動かすには、矢印ボタン() または)を押しながら矢印ボタン() または)を押します。

カメラの向きを正面に戻すにはHOMEボタンを押します。

カメラの向きを手で動かしてしまったらPAN-TILT RESETボタンを押してパン・チルト位置をリセットします。

カメラが記憶しているパン・チルト位置と、実際のパン・チルト位置のずれがなくなり、正常に動作するようになります。

カメラの動きと見たい方向の矢印ボタンが違うときは

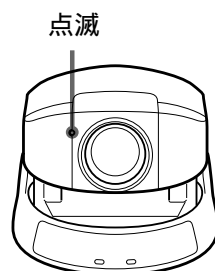
通常、矢印ボタン()を押すとカメラは右方向に動くよう設定されています。画面を見ながらカメラの向きを変えるときなど、カメラの動きを左右逆にしたい場合は、L/R DIRECTION SETボタンを押しながらREVボタンを押します。もとの設定に戻すときは、L/R DIRECTION SETボタンを押しながらSTDボタンを押します。

矢印ボタン	カメラの動き	設定方法
		L/R DIRECTION SET 押しながら STD 1 押す
		L/R DIRECTION SET 押しながら REV 2 押す

ご注意

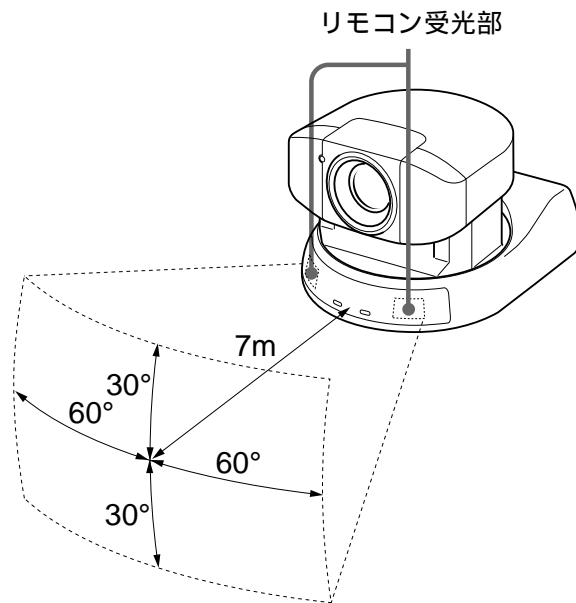
上記の設定はリモコンの発信信号を変えているだけで、カメラ本体の設定を変えているではありません。複数のリモコンを使うときは、リモコンごとに設定してください。

レンズ横のランプが赤く点滅したらカメラのマイコンがカメラのパン・チルト位置を正しく記憶していないことがあります。PAN-TILT RESETボタンを押してパン・チルト位置をリセットします。



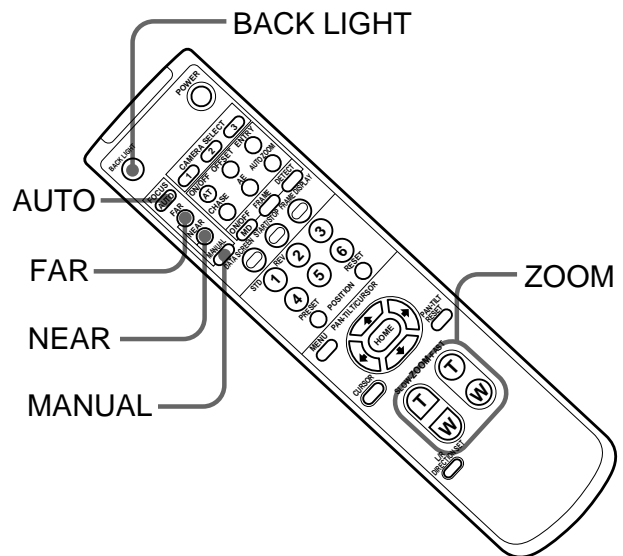
リモコンの操作範囲について

図の範囲内でリモコンを本体のリモコン受光部に向けて操作してください。



複数のカメラをリモコンで操作するときは操作するカメラの裏面にあるCAMERA NO. スイッチ設定と、同じ番号のCAMERA SELECTボタンを押します。その他のボタンを押すたびに、押したCAMERA SELECTボタンが点灯します。

カメラを調節する



ピントを合わせるには

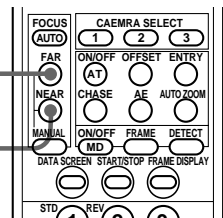
自動でピントを調節するには
AUTOボタンを押します。

自動的に画面中央部の被写体にピントが合います。

手動でピントを調節するには

MANUALボタンを押してから、FARボタンまたはNEARボタンで調節します。

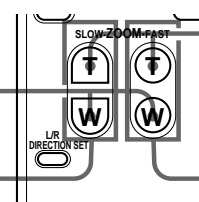
遠くの被写体にピントを合わせる
近くの被写体にピントを合わせる



ズームするには

ZOOMボタンを押します。

被写体が小さくなる(広角: Wide)
ゆっくりズームする(SLOW側)



被写体が大きくなる(望遠: Telephoto)
すばやくズームする(FAST側)

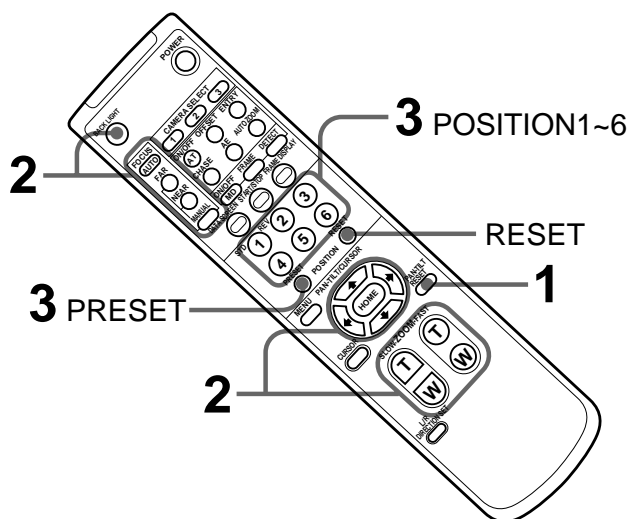
逆光を補正するには

被写体の背後に光源があり、被写体が暗く映る場合などBACK LIGHTボタンを押します。解除するには、もう一度BACK LIGHTボタンを押します。

カメラの状態を記憶させる

—プリセット機能

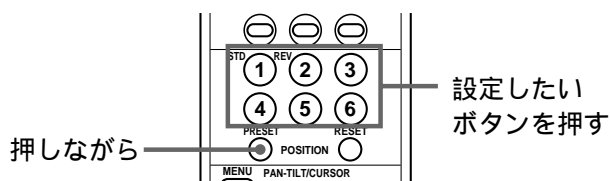
カメラの向きや、ズーム、ピント調節、逆光補正の入/切などを6種類まで記憶できます。



1 PAN-TILT RESETボタンを押してパン・チルト位置をリセットする。

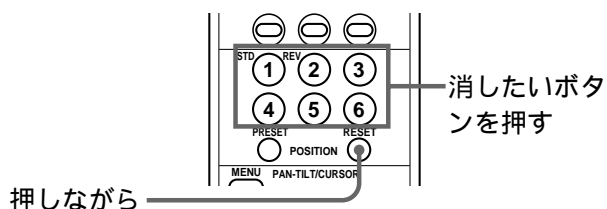
2 カメラの向き、ズーム、ピント、逆光補正を調節する。
(11ページ参照)

3 PRESETボタンを押しながら、POSITION 1～6ボタンの中から1つ選んで押す。



記憶させた状態にするには
POSITION 1～6ボタンの中から1つ選んで押
します。

記憶を消すには
RESETボタンを押しながら、POSITION 1
～6ボタンの中から消したいボタンを選んで押
します。



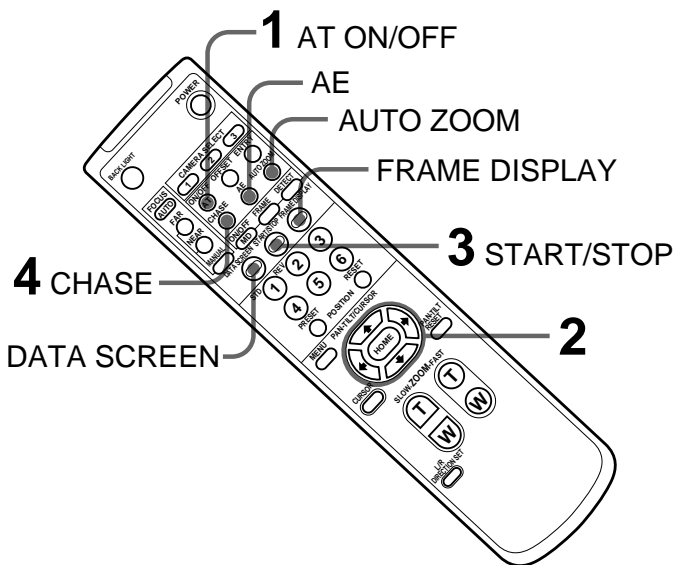
ご注意

- プリセットするときは、必ずパン・チルト位置をリセットしてから記憶させてください。カメラのパン・チルト位置がずれた状態で記憶させると、正しい位置が記憶されません。
- プリセットした情報は、本体の電源を切るまで記憶されています。電源を切っても記憶を残したい場合は、カメラヘッド部裏面のBACKUPスイッチをONにします。(「バックアップについて」(25ページ)参照)

自動追尾する

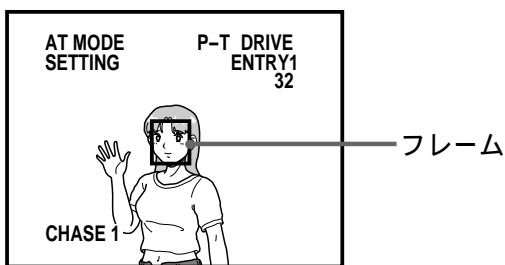
—AT (Auto target Tracking)機能

ある特定の色や明るさの被写体を記憶させて、その被写体をカメラが自動的に追うようにします。



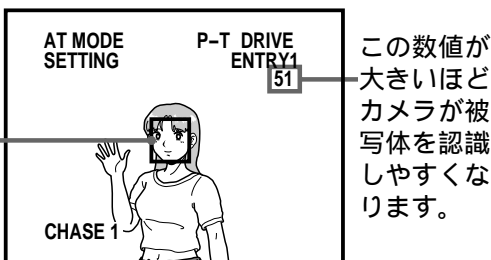
1 AT ON/OFFボタンを押してAT設定モードにする。

フレームと設定値が表示されます。



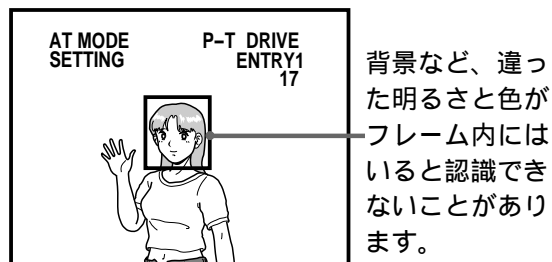
2 フレーム内に被写体が入るよう、矢印ボタンを押してパン・チルトする。

被写体の明るさと色が均一になる部分をフレーム内に入れる。



この数値が大きいほどカメラが被写体を認識しやすくなります。

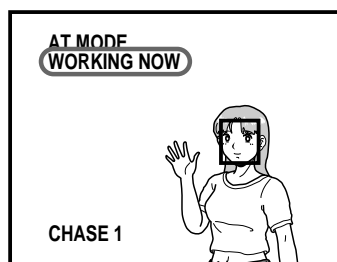
認識しにくい例



背景など、違った明るさと色がフレーム内にはいると認識できないことがあります。

3 START/STOPボタンを押してAT機能を働かせる。

被写体を動かして、フレームが被写体を追うのを確認します。



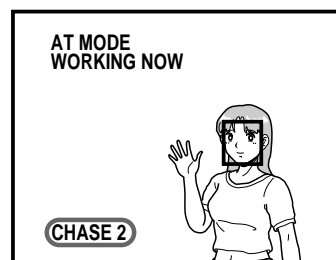
フレームが被写体を追ったときは、手順4に進みます。

フレームが被写体を追わなかったときは、被写体の色や輝度(明るさ)が正常になるように照明や被写体の向きなどを調節して、フレームが被写体を追うようになるまで手順3をくり返します。それでも追わないときは、「被写体を認識できない/見失うときは(17ページ)をご覧ください。

4 CHASEボタンを繰り返し押し続けてCHASEモードを選ぶ。

押すごとに次のように変わります。

CHASE 1 CHASE 2 CHASE 3



モード	追尾方法	用途
CHASE 1	パン・チルトせず (カメラは動かない)、画面内でフレームが被写体を追います。	被写体を認識できているかの確認用。
CHASE 2	パン・チルトしながらフレームが被写体を追う。このとき被写体は常に画面中央*になります。	通常の追尾モード。
CHASE 3	はじめは CHASE 1の追尾方法で、被写体が画面からはずれそうになるとパン・チルトして被写体を画面中央*にします。	カメラの動きをできるだけ抑えたいときの追尾モード。(例：画像を送信を行うときなど)

*被写体の位置は画面中央以外にも設定することができます。(「フレームの位置を設定するには」(16ページ)をご覧ください。)

フレームがくり返し画面いっぱいに広がったら
被写体を認識できていません。START/STOPボタンを押し、手順2からやり直します。
それでも認識できないときは、「被写体を認識できない/見失うときは」(17ページ)をご覧ください。

設定値やフレームを消すには
カメラの映像を録画するとき、画面上に設定値やフレームが表示されていると、映像と一緒に録画されます。

設定値を消すには、DATA SCREENボタンを押しします。

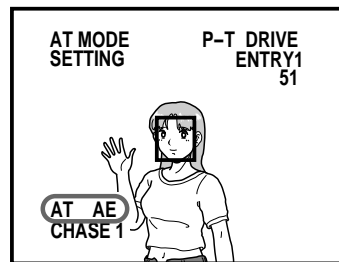
フレームを消すには、FRAME DISPLAYボタンを押しします。

ご注意

一度設定値を消すと、次にDATA SCREENボタンを押すまで設定値は表示されません。ただし、電源を入れ直したあと、初めてAT設定モードにしたときは自動的に表示されます。

画面中央の被写体の明るさを一定にするには(自動逆光補正機能)

手順2のあとで、AEボタンを押しします。



解除するには、もう一度AEボタンを押しします。

ご注意

AEボタンは必ず手順3の前に押ししてください。START/STOPボタンを押したあとではこの機能は働きません。

記憶させた被写体の大きさを一定にするには

手順2のあとで、AUTO ZOOMボタンを押しします。

解除するには、もう一度AUTO ZOOMボタンを押しします。

AT機能を止めるには

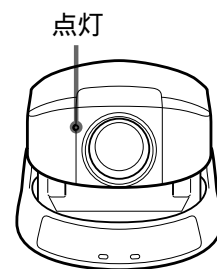
START/STOPボタンを押しします。

記憶させた被写体の情報は消えます。

さらにAT設定モードを解除するには、AT ON/OFFボタンを押しします。

レンズ横のランプが点灯したら

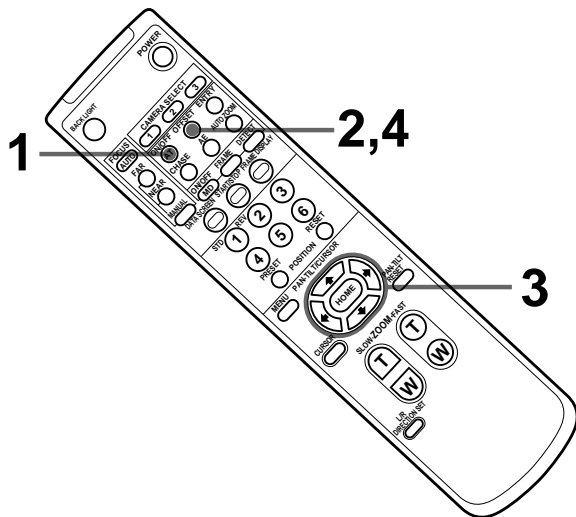
カメラが記憶させた被写体を見失っています。被写体が画面内に入るよう、矢印ボタンを押し、パン・チルトするか、もう一度被写体を記憶させ直します。



自動追尾する(つづき)

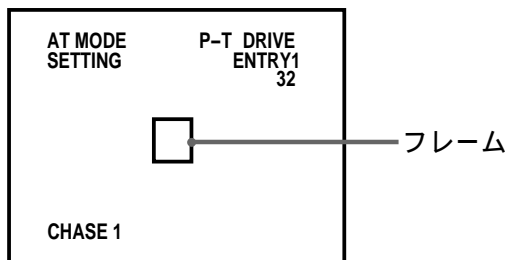
より細かい設定をするには

フレームの位置を設定するには通常フレームは画面中央に現れますが、中央以外の位置に設定することができます。(CHASE 1のときは画面内でフレームが被写体を追います。)

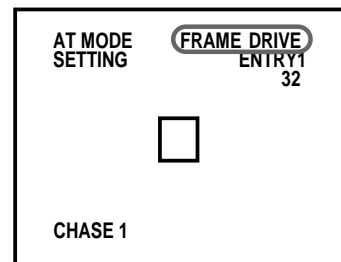


1 AT ON/OFFボタンを押してAT設定モードにする。

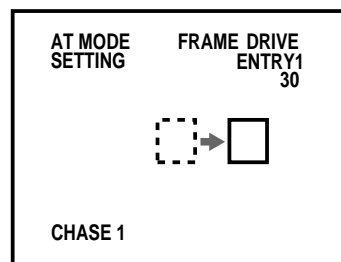
フレームと設定値が表示されます。設定値が表示されないときは、DATA SCREENボタンを押して表示させます。



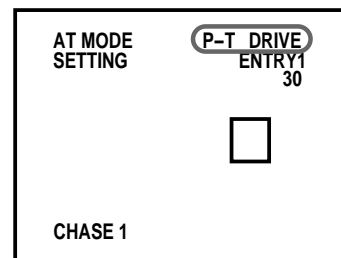
2 OFF SETボタンを押してATフレーム位置設定モードにする。



3 矢印ボタンを押してフレーム位置を選ぶ。



4 OFF SETボタンを押して、フレーム位置を設定する。

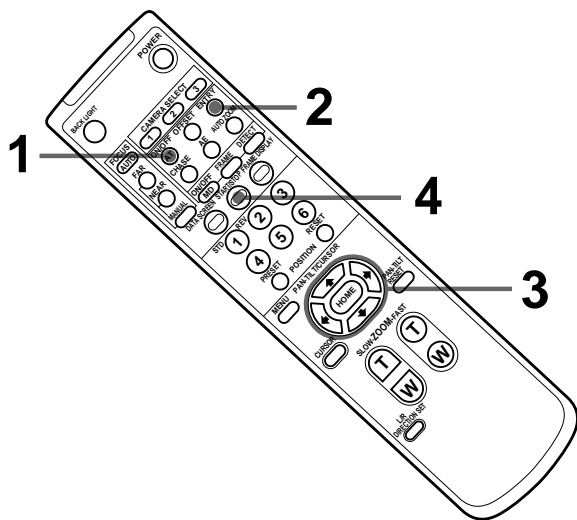


フレーム位置の設定が終わったら、「自動追尾する」の手順2に戻ります。

被写体を認識できない / 見失うときは

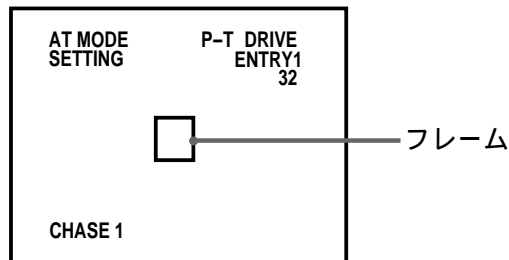
被写体の性質や状態によって、カメラがなかなか被写体を認識できないことがあります。14、15ページの手順をくり返してもAT機能がうまく働かないときは、状況に応じてENTRYモードを設定してください。通常はENTRY 1にしてお使いください。

こんなとき	ENTRYモード
被写体の色が薄くて認識できない。	ENTRY 2
被写体と近くにある似た色のものを間違いやすい。(フレームが被写体から似た色のものに移ってしまう)	ENTRY 2
被写体と背景の壁や天井を間違いやすい(フレームが被写体から背景に移ってしまう)	ENTRY 4
被写体の照明に対する向きが変わることによって、被写体自身の明るさが変わると、見失ってしまう。	ENTRY 3



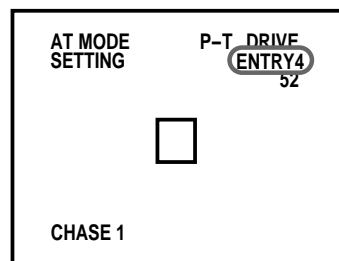
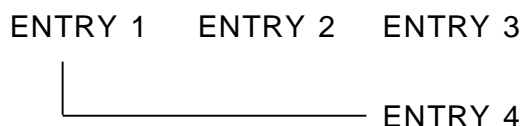
1 AT ON/OFFボタンを押してAT設定モードにする。

フレームと設定値が表示されます。設定値が表示されないときは、DATA SCREENボタンを押して表示させます。



2 ENTRYボタンを繰り返し押ししてENTRYモードを選ぶ。

押すごとに次のように変わります。



3 矢印ボタンを押し被写体をフレーム内に入れて、記憶させる。

ENTRYモードによって、以下のように記憶させてください。

ENTRY 2：被写体の中で色や輝度がある程度均一な部分をフレーム内に入れる。

ENTRY 3：被写体がフレームから少しはみ出すくらいにする。

ENTRY 4：被写体がフレームからはみ出さない範囲で最大の大きさになるようにして、背景がフレームの外にくるようにする。

4 START/STOPボタンを押してAT機能を働かせる。

被写体を動かして、フレームが被写体を追うのを確認します。

自動追尾する(つづき)

ENTRY 3を選んだ場合、START/STOPボタンを押してから約5秒間フレームが点滅するので、その間に被写体の角度をいろいろ変えて、被写体の様々な明るさを記憶させてください。

ご注意

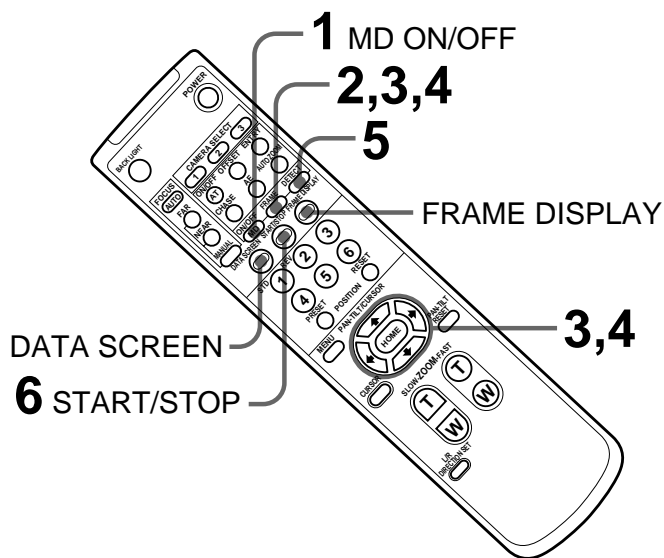
- ENTRY 2 とENTRY 4は、認識する色や輝度を絞っているため、ENTRY 1で充分認識できる被写体の場合は、かえって認識しにくくなる場合があります。
- ENTRYモードを変更しても、被写体の性質によっては、どうしても認識しにくいものがあります。そのときは、被写体を鮮やかな色のものにしたたり、背景と異なる色のものにしたたり、照明を変えたりしてください。
- 被写体の大きさや色、明るさなどによっては、あらゆる設定をしても、AT機能が働かない場合があります。

画面の変化を検出する

—MD (Motion Detector)機能

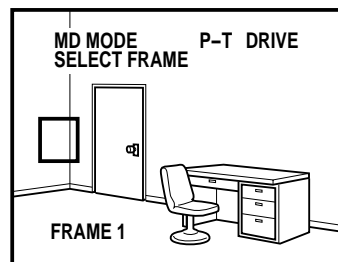
固定したカメラの画面に変化があった場合、その変化を検出します。変化を検出すると画面上にフレームが現れ変化部分を示し、レンズ横のランプが赤く点灯します。(VISCA IN端子からは検出信号も出力されます。)

変化を検出する範囲(検出枠)は、位置と大きさを自由に設定できる2つのフレーム(FRAME 1およびFRAME 2)で指定することができます。

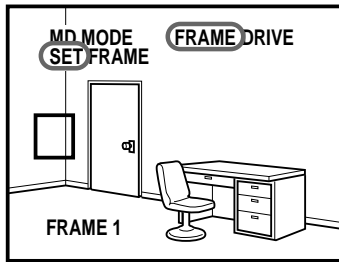


1 MD ON/OFFボタンを押してMD設定モードする。

フレームと設定値が表示されます。

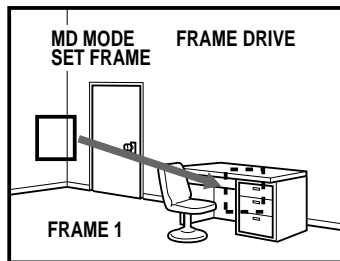


2 FRAMEボタンを押し検出枠設定モードにする。

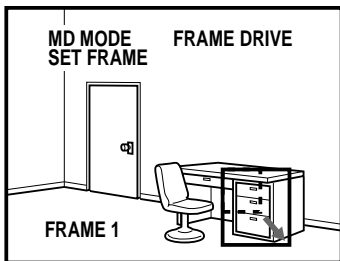


3 FRAME 1の位置と大きさを設定する。

- ① 矢印ボタンを押してFRAME 1の位置を決め、FRAMEボタンを押す。



- ② 矢印ボタンを押してFRAME 1の大きさを決め、FRAMEボタンを押す。



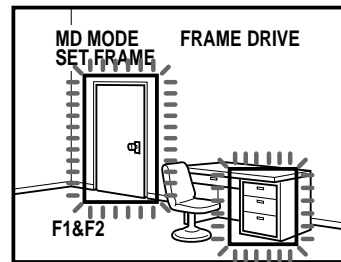
FRAME 1の検出枠設定が終わり、FRAME 2の設定モードになります。FRAME 2の設定をしないときは、手順5に進みます。

4 手順3と同じ操作でFRAME 2の位置と大きさを設定する。

5 DETECTボタンを繰り返し押し、使用する検出枠を選ぶ。

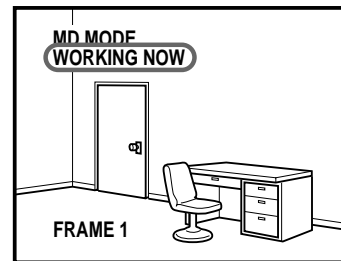
押すごとに次のように変わります。

FRAME 1 FRAME 2 F 1 & F 2*



* FRAME 1、FRAME 2のどちらか一方でも変化を検出すると、レンズ横のランプが赤く点灯します。

6 START/STOPボタンを押してMD機能を働かせる。



設定値やフレームを消すにはカメラの映像を録画するとき、画面上に設定値やフレームが表示されていると、映像と一緒に録画されます。

設定値を消すには、DATA SCREENボタンを押す。

フレームを消すには、FRAME DISPLAYボタンを押す。

MD機能を止めるにはSTART/STOPボタンを押します。

さらにMD機能を解除するには、MD ON/OFFボタンを押します。

ご注意

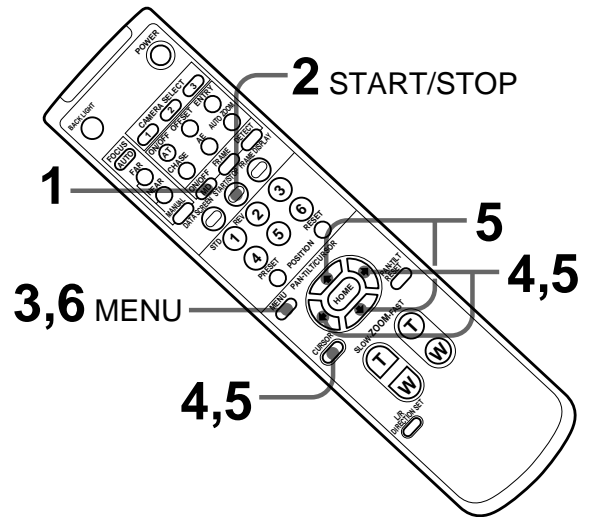
設定したフレームは電源を切るまで記憶されます。電源を切っても記憶を残したい場合は、カメラヘッド部裏面のBACKUPスイッチをONにします。(「バックアップについて」(25ページ)参照)

画面の変化を検出する(つづき)

より細かい設定をするには

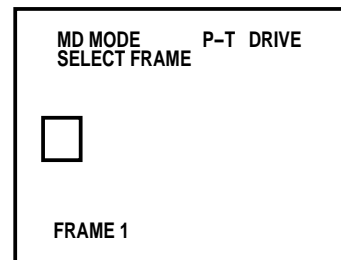
MD機能では、カメラがある時点の状態を「基準画面」として記憶し、その基準画面と現在の画面を比べることによって変化の有無を検出します。基準画面は、工場出荷時、一定時間が経つと更新するようになっていますが、撮影場所の状況によって、更新しないようにしたり、更新のしかたを変えることができます。また、色や明るさなど、どの点(パラメータ)の変化を検出するかの設定も変更することができます。

撮影条件	基準画面 更新モード	更新のしかた
外光の影響を受け、時間とともに光源が変化する場所	MODE 1	一定時間(工場出荷時：約0.1秒)が経過すると更新する。
<ul style="list-style-type: none"> 外光の影響を受け、時間とともに光量に変化する場所 急激な変化のみ検出したいとき 	MODE 2	画面に変化がないときに、一定時間が経過すると更新する。変化を検出していると更新しない。
<ul style="list-style-type: none"> 外光の入らない窓のない室内で、光源の明るさなどが変化しない場所 一度記憶させた基準画面と少しでも違うと、変化として検出したいとき 	MODE 3	更新しない。



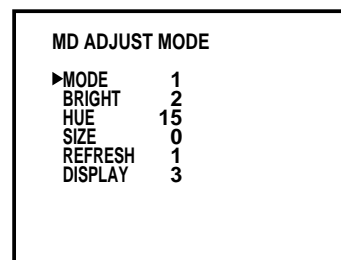
1 MD ON/OFFボタンを押してMD設定モードする。

フレームと設定値が表示されます。設定値が表示されないときは、DATA SCREENボタンを押して表示させます。



2 START/STOPボタンを押して検出を始める。

3 MENUボタンを押しMD検出調整モードにする。



4 CURSORボタンを押しながら矢印ボタン(◀ または ▶)を押し、基準画面更新モードの種類(1~3)を選ぶ。

5 各パラメータを調整する。

- ① CURSORボタンを押しながら矢印ボタン(◀ または ▶)を押し、パラメータの種類を選ぶ。
- ② CURSORボタンを押しながら矢印ボタン(◀ または ▶)を押し、数値を選ぶ。

各パラメータは、上から順に下表のように設定してください。

	MODE 1	MODE 2	MODE 3
BRIGHT	2	2	2
HUE	15	15	15
SIZE	0	0	0
REFRESH	1	8	*
DISPLAY	3	0	0

* MODE 3の場合、基本画面は更新されない設定になっているため、REFRESHの値は調整できません。

6 MENUボタンを押し設定を終える。

検出がうまく行われなときは、「各検出パラメータの値を設定する」を参考に設定してください。

各検出パラメータの値を設定するには「より細かい設定をするには」の手順5で、各パラメータを自由に設定することができます。各パラメータは検出状況を確認しながら、右表を参考にして上から順に設定してください。

パラメータ	内容/設定のヒント	設定範囲
BRIGHT* ¹ (検出輝度レベル)	明るさの変化を画面の変化として検出するレベルを決める。 数字が小さいほど検出感度が高くなる。 誤検出がない範囲で調整します。	0~14、 15(検出なし)
HUE* ² (検出色相レベル)	色の変化を画面の変化として検出するレベルを決める。 数字が小さいほど微妙な色の違いを検出する。 検出する予定の物体の明るさが、背景の明るさに近い場合など、 BRIGHT設定だけでは検出しにくいとき調整します。	0(5°)~ 14(75°) 15(検出なし)
SIZE* ³ (検出面積レベル)	フレーム内で変化が起こった部分の面積がどの程度だと検出するかを決める。 大きい変化があったときのみ検出したいときなどに調整します。	0(約0.3%) ~ 15(約20%)
REFRESH* ⁴ (基準画面更新周期レベル)	基準画面を更新する周期を決める。	0(0.07秒) ~ 15(60分)
DISPLAY (信号出力持続時間レベル)	検出終了後、検出信号を出し続ける時間を決める。	0(0.07秒) ~ 14(30分) 15(連続)

* 1 BRIGHT設定時は、自動的にHUEが15、SIZEが0になります。

* 2 HUE設定時は、自動的にBRIGHTが15、SIZEが0になります。

* 3 SIZEの設定は必ずBRIGHTとHUEの設定が終わってから行ってください。

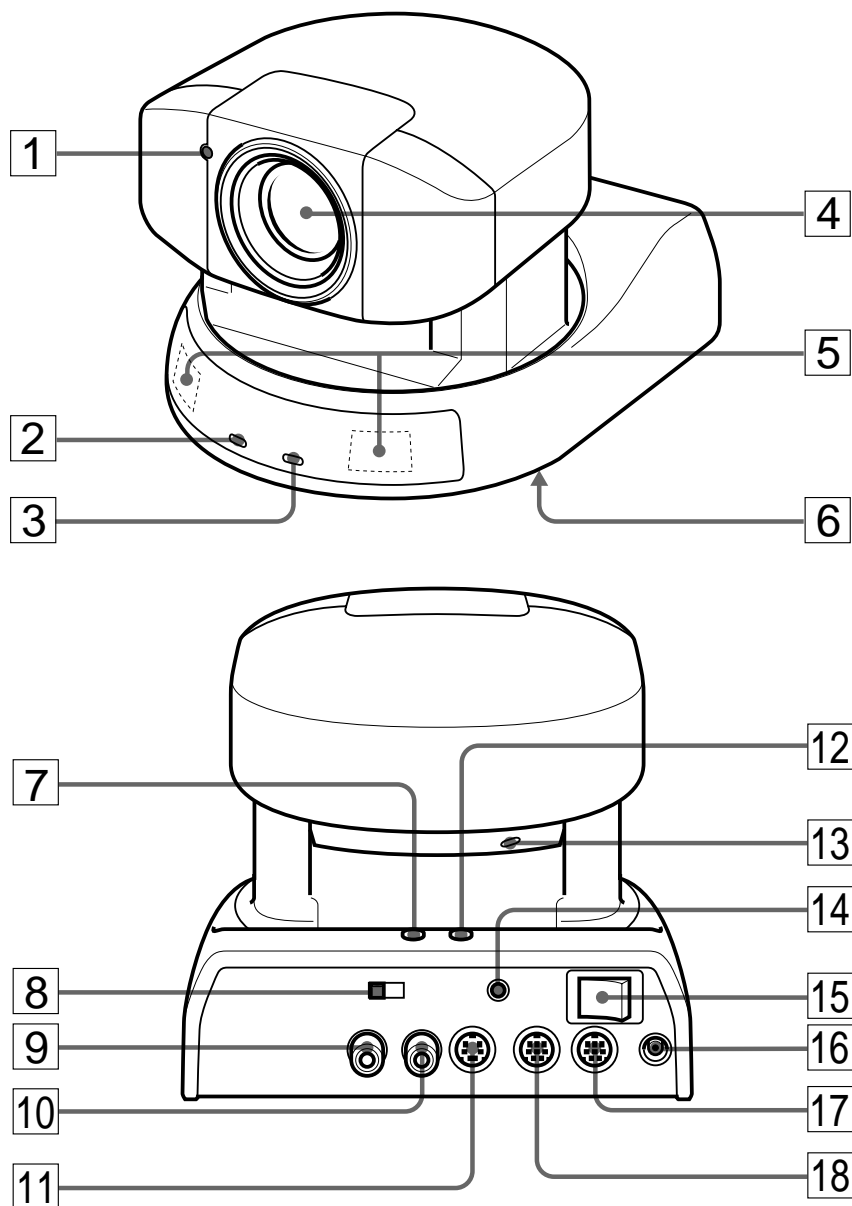
- フレームの大きさとSIZEの値の両方が小さいとき、変化を検出できないことがあります。

* 4 MODE 1あるいはMODE 2のときのみ調整できます。

各部の名称

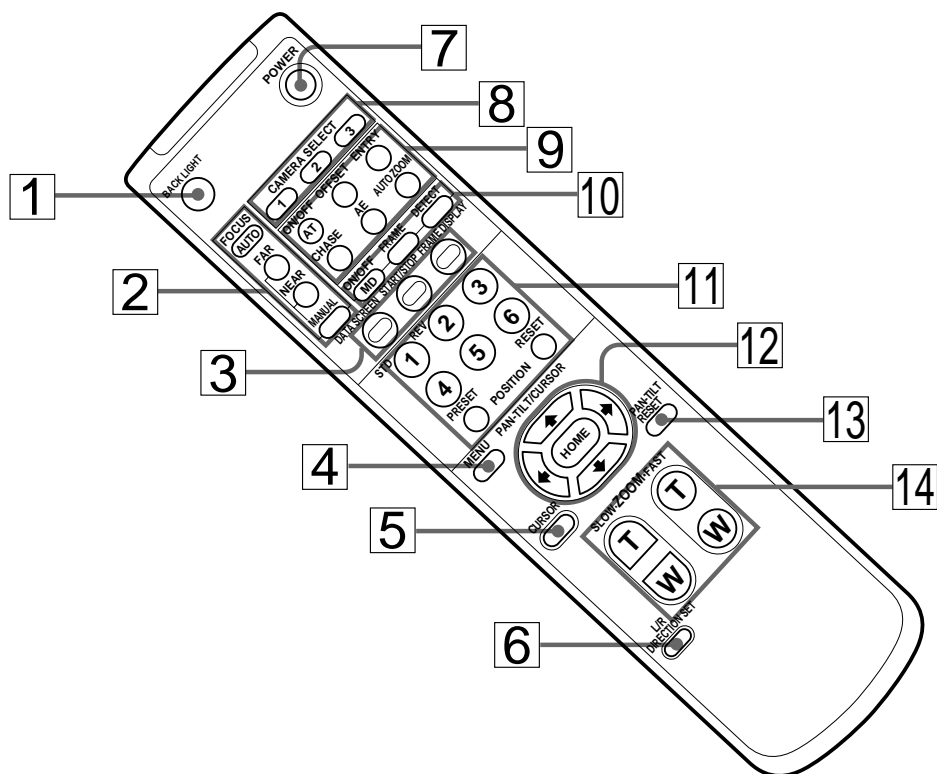
()内のページに説明があります。

本体



- | | |
|---|-----------------------|
| 1 コーションランプ(10、 15) | 9 AUDIO OUT端子(6) |
| 2 POWERランプ(8) | 10 VIDEO OUT端子(6) |
| 3 RECEIVEランプ | 11 S VIDEO OUT端子(6) |
| 4 レンズ | 12 DATEボタン(8) |
| 5 リモコン受光部(11) | 13 BACK UPスイッチ(25) |
| 6 IR OUTスイッチ
ビデオカメラを含んだシステムをVISCA端子で接続するときに使います。
通常はOFFにしてください。 | 14 MIC端子(6) |
| 7 TIMEボタン(8) | 15 POWERスイッチ(8) |
| 8 CAMERA NO. スイッチ(7、 11) | 16 DC IN 13.5V端子(6) |
| | 17 VISCA OUT端子(6) |
| | 18 VISCA IN端子(6) |

リモコン

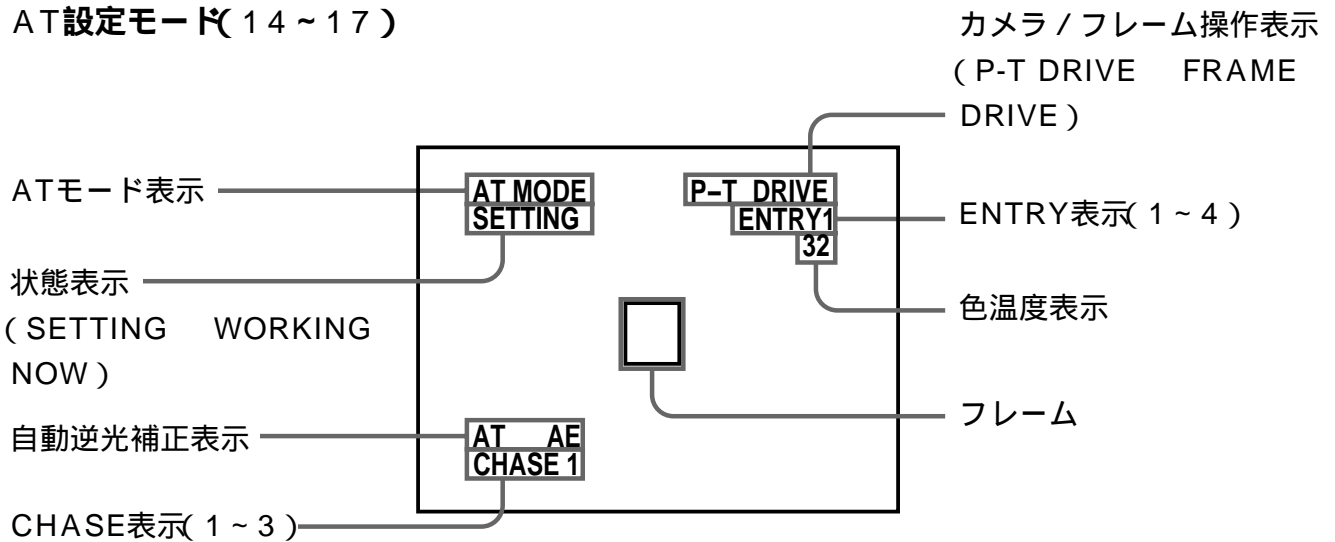


- | | | | |
|---|---|----|---|
| 1 | BACK LIGHTボタン(11) | 10 | MDモードボタン
MD ON/OFFボタン(18)
FRAMEボタン(19)
DETECTボタン(19) |
| 2 | FOCUSボタン(11)
AUTOボタン
FARボタン
NEARボタン
MANUALボタン | 11 | POSITIONボタン(12)
数字ボタン(1はSTDボタンと兼用 / 2は
REVボタンと兼用) (10)
PRESETボタン
RESETボタン |
| 3 | DATA SCREENボタン(15)
START/STOPボタン(14、 19)
FRAME DISPLAYボタン(15) | 12 | PAN-TILT/CURSORボタン(10、 14、
16、 19)
矢印ボタン
HOMEボタン |
| 4 | MENUボタン(20) | 13 | PAN-TILT RESETボタン(10) |
| 5 | CURSORボタン(21) | 14 | ZOOMボタン(11)
SLOW Tボタン
SLOW Wボタン
FAST Tボタン
FAST Wボタン |
| 6 | L/R DIRECTION SETボタン(10) | | |
| 7 | POWERスイッチ(10) | | |
| 8 | CAMERA SELECTボタン(11) | | |
| 9 | ATモードボタン
AT ON/OFFボタン(14)
OFF SETボタン(16)
ENTRYボタン(17)
CHASEボタン(14)
AEボタン(15)
AUTO ZOOMボタン(15) | | |

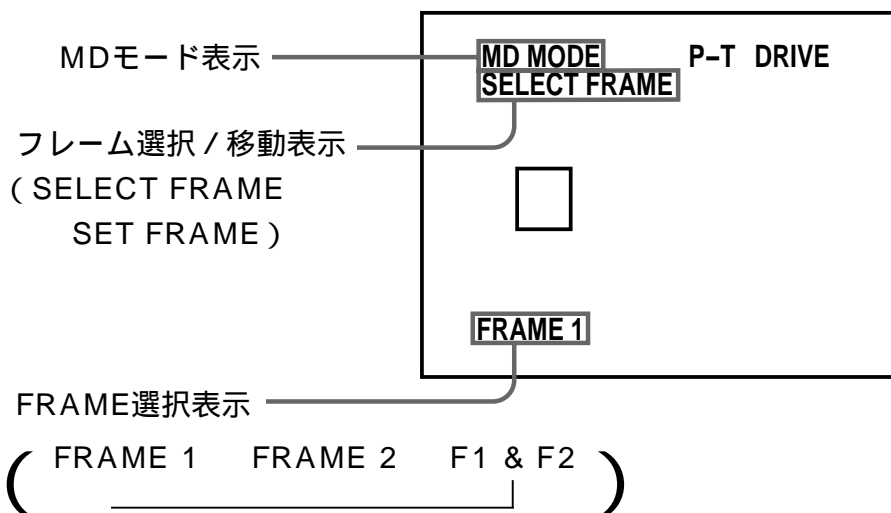
各部の名称(つづき)

画面表示

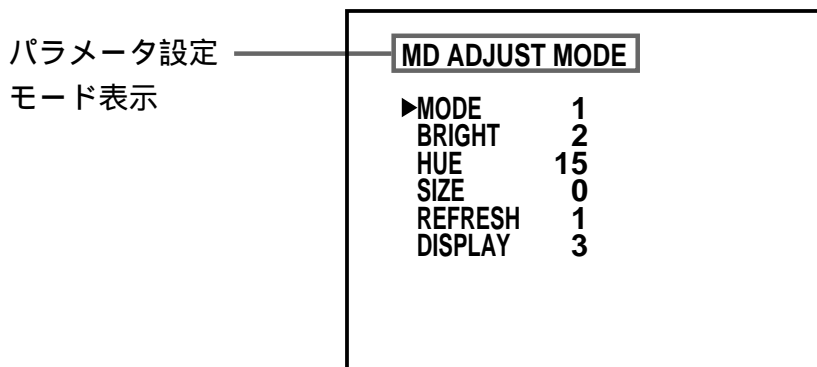
AT設定モード(14~17)



MD設定モード(18、19)



MD検出調整モード(20)



使用上のご注意

被写体の明るさについて

被写体照度範囲を越える明るさ(直射日光など)でご使用の場合には、十分な性能が得られないことがあります。

特殊な使い方をしない

監視用など長時間にわたって動かない同じものを撮り続けたり、太陽や電灯などの非常に明るいものを撮り続けたりすると、色フィルターを損傷することがあります。

著作権について

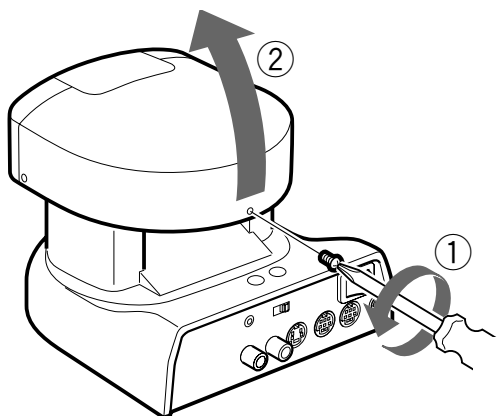
あなたが撮影した映像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できませんのでご注意ください。

この装置は、第二種情報処理装置(住宅地域又はその隣接した地域において使用されるべき情報処理装置)で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協会(VCCI)基準に適合しております。しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

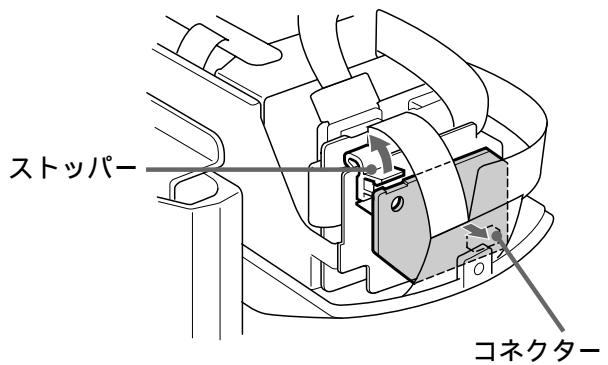
本機を廃棄するときは

環境保護のため充電式ボタン電池を取りはずし、適宜処理してください。

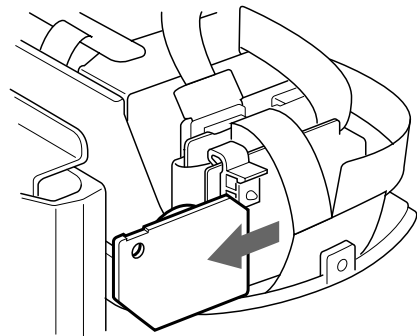
1 プラスドライバーでカメラヘッド部裏面のネジをはずし、キャビネットをはずす。



2 ストッパーとコネクターをはずす。

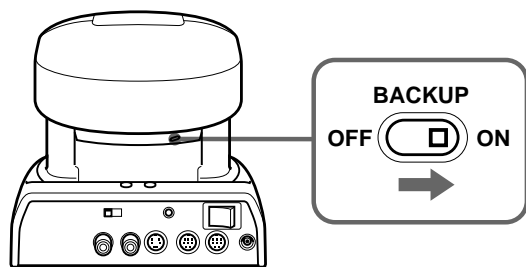


3 充電式ボタン電池を基板ごと取りはずし廃棄する。



バックアップについて

時計、カメラ位置のプリセット、MD機能の各設定などの記憶は、本体のPOWERスイッチをOFFにすると消えてしまいます。記憶を消したくないときは、カメラヘッド部裏面のBACK UPスイッチをONにしてください。



ご注意

- 本機は、内蔵の充電式ボタン電池が記憶保持用の電源として働きます。充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、BACKUPスイッチがONの状態、さらに使用時間が短いと徐々に放電を続け、12週間近く全く使わないと完全に放電してしまいます。記憶を消したくないときは、充電してください。
- 充電するには、本機をACパワーアダプターを使ってコンセントにつなぎ、本体のPOWERスイッチをONにして約48時間放置してください。

お手入れについて

汚れがついたときは、柔らかい布やティッシュペーパーなどで、きれいに拭き取りましょう。

本体のお手入れ

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性の物をかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

リモコンの電池交換

リモコンで操作できる距離が短くなってきたら、単3形乾電池(2個)を交換してください。

リモコンのボタンを押しても動作しない。

- 本体裏面のPOWERスイッチをONにする。
- リモコンのCAMERA SELECTボタン番号とカメラのCAMERA NO. を合わせる。
- リモコンの電池を交換する。
- ACパワーアダプターのプラグをコンセントにつなぐ。

リモコンのPOSITIONボタン(1~6)を押しても動作しない。

カメラのモードを確認してから
-ATモード時は、AT ON/OFFボタンを押して解除する。
-MDモード時は、MD ON/OFFボタンを押して解除する。

リモコンの矢印ボタン、HOMEボタンおよびPAN-TILT RESETボタンを押しても動作しない。

MD ON/OFFボタンを押してMDモードを解除する。

リモコンの矢印ボタンを押しても動作しない。

カメラのモードを確認してから
-ATフレーム位置設定モード時は、AT ON/OFFボタンを押して解除する。
-MD検出枠設定モード時は、MD ON/OFFボタンを押して解除する。

どうしても動作しない。

本体裏面のPOWERスイッチをOFFにして、しばらくしてからもう1度POWERスイッチをONにする。
それでも動作しないときは、BACK UPスイッチをOFFにしてからPOWERスイッチを同様に操作してください。(BACK UPスイッチをOFFにすると、各設定の記憶は消えてしまいます。)

故障かな?と思ったら

こんなときは このようにしてください。

AVパソコンに接続しても画像が映らない。
• 接続が正しいか確認する。
• テレビやビデオデッキに接続して、ビデオカメラに故障がないか確認する。

AVパソコンに接続したとき、画質や音質がテレビのときと異なる。
パソコンや内蔵ポ - ドの機種によっては、ご希望の画質や音質が得られないことがあります。詳細はお手持ちのパソコンメ - カ - や販売店へご連絡ください。

アフターサービスについて

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックをこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

部品の保有期間について

当社ではこの製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店にご相談ください。

なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

主な仕様

システム

映像信号	NTSCカラーEIAJ標準方式
映像素子	1/3 インチ カラーCCD (総画素数 約41万画素) (有効画素数 約38万画素)
レンズ	電動12倍ズームレンズ f=5.4~64.8mm、F1.8~ F2.7 水平画角 4.4°~48.8°
最至近撮影距離	10mm(WIDE端) 800mm(TELE端)
最低被写照度	7ルクス(F1.8)/50 IREにて
被写照度範囲	7~100,000ルクス
シャッタースピード	1/60~1/10,000(VISCA コントロール時)
ゲイン切り換え	自動/マニュアル
水平解像度	460TV本
映像S/N	48dB
パン・チルト機能	水平±100°、垂直±25°

入出力端子

映像出力	ピンジャック(1) 1Vpp、 75W不平衡、同期負
S映像出力	4ピンミニDIN(1)
音声出力	ピンジャック(モノラル)1) 規定出力327mV、出力イン ピーダンス2.2kΩ以下
コントロール入/出力端子	RS232C(各1) 8ピンミニ DIN、9600bps、データ8 ビット、ストップ1ビット
マイク入力端子	ミニジャック(モノラル)1) 規定入力0.775mV、低イン ピーダンスマイク用DC 3V、 入力インピーダンス10kΩ以上 (3.5)
電源端子	EIAJ type4

電源部、その他

入力電圧	DC 12~14V
消費電力	11W
動作温度	0°~40
保存温度	-20°~60
最大外形寸法	本体、142×109×164mm (幅/高さ/奥行き) リモコン、56×26× 210mm (幅/高さ/奥行き)
質量	本体、1200g リモコン、109g

付属品

ACパワーアダプター(AC100V、50/60Hz)1)
AV接続ケーブル(1)
リモコン(1)
マジックテープ(3組)
取扱説明書(1)